

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 11 月 25 日 (2021.11.25)

【公開番号】特開 2021-73043 (P2021-73043A)

【公開日】令和 3 年 5 月 13 日 (2021.5.13)

【年通号数】公開・登録公報 2021-022

【出願番号】特願 2021-21670 (P2021-21670)

【国際特許分類】

A 6 1 M 60/804 (2021.01)

【F I】

A 6 1 M 1/10 1 1 9

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 10 月 15 日 (2021.10.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

カテーテルアセンブリをプライミングするためのシステムであって、

- ・カテーテルアセンブリであって、
先端部を備える長尺ボディ、及び
前記先端部に配置された動作デバイス、
を備えるカテーテルアセンブリと、
- ・前記動作デバイスの挿入を受けるように構成されたプライミング容器と、
を備え、
前記プライミング容器が、
前記長尺ボディの前記先端部に固定され、それにより、前記長尺ボディが当該プライミング容器と流体連通する基端部と、
先端部であって、流体が前記長尺ボディを通してそして当該プライミング容器内へ導かれて前記カテーテルアセンブリ内からエアを吐出させるときに当該先端部を通してエアが吐出される、先端部と、
を備え、
前記長尺ボディに固定された前記基端部が、前記動作デバイスよりも近位側にある、
ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記プライミング容器が、前記動作デバイスを収容するように構成されたプライミングハウジングを備えることを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記プライミングハウジングが、前記長尺ボディの前記先端部を収容するように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記プライミングハウジングが、漏斗状部分を備え、
前記プライミングハウジングの内径が、前記漏斗状部分内で先端から基端へ縮径していることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記漏斗状部分が、前記動作デバイスを前記プライミング容器に対して基端側へ移動さ

せると、前記動作デバイスを格納構成へと折り畳むように構成されていることを特徴とする請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記プライミング容器の前記基端部に接続されたシールキャップをさらに備え、
前記シールキャップが、プライミングのために前記プライミング容器をシールするように構成されていることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記シールキャップを前記プライミングハウジングに接続するように構成されたネジ山付コネクタをさらに備えることを特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記シールキャップが、前記プライミングハウジングから前記長尺ボディへエアを基端向きに導入することを防止するように構成され、かつ、前記プライミングハウジングの前記基端部からのプライミング流体が流出することを防止するように構成されていることを特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記シールキャップが、当該シールキャップの先端部にシール凹所を備え、前記シール凹所が、前記シールキャップを通して前記長尺ボディを延在させることを可能とするように構成されている請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記動作デバイスが、インペラーと前記インペラーの周りに位置付けられた拡張可能カニューレとを備えるインペラーアセンブリを備えることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 11】

前記インペラーが、拡張可能であることを特徴とする請求項 10 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記カテーテルアセンブリに流体を供給するように構成された注入システムであって、インターフェースボディを備える、注入システムと、
前記注入システムに接続されたコンソールハウジングであって、前記インターフェースボディを受けるように構成されたインターフェース開口を備える、コンソールハウジングと、
をさらに備えることを特徴とする請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記インターフェースボディが、
前記インターフェースボディ上に配置された閉塞ベッドと、
前記閉塞ベッドの近傍において前記インターフェースボディ上に設置されたチューブセグメントと、
前記インターフェースボディ上に配置された電氣的構成部材と、
をさらに備え、
前記インターフェースボディが、当該インターフェースボディが前記コンソールハウジングの前記インターフェース開口内に挿入されたときに、前記コンソールハウジング内のポンプが前記チューブセグメント及び前記閉塞ベッドに対して動作可能に係合するような、なおかつ、前記コンソールハウジング内の電氣的相互接続部材が当該インターフェースボディ上の前記電氣的構成部材に対して電氣的に接続されるような、寸法とされている、ことを特徴とする請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

カテーテルアセンブリをプライミングするための注入システムであって、当該注入システムが、
長尺ボディ及び動作デバイスを備えるカテーテルアセンブリと、
注入流体を蓄えるように構成された流体リザーバと、
前記流体リザーバと流体連通するように接続されたルアーと、

前記動作デバイスの挿入を受けるように構成されたプライミング容器であって、前記長尺ボディ及び前記ルアーと流体連通するように接続され、それにより、前記ルアーが、プライミング装置に前記注入流体を供給して前記カテーテルアセンブリからエアを吐出させるように構成されていることを特徴とする注入システム。

【請求項 1 5】

前記流体リザーバと前記ルアーとの間を流体連通するように接続するモータハウジングをさらに備えることを特徴とする請求項 1 4に記載の注入システム。

【請求項 1 6】

前記流体リザーバと前記モータハウジングとの間を流体連通するように接続されたインターフェースボディをさらに備えることを特徴とする請求項 1 5に記載の注入システム。

【請求項 1 7】

前記インターフェースボディが、
当該注入システムを通して注入流体をポンピングするように構成されたポンピング機構と、

当該注入システムに導入されたエアバブルを検出するように構成されたエア検出器と、
管内の圧力を検出するように構成された圧力センサと、
を備えることを特徴とする請求項 1 6に記載の注入システム。